



新政あいち県議団 立憲民主党

■編集 / 発行

なるみ
鳴海やすひろ 事務所〒453-0839 愛知県名古屋市中村区長茂町 3-48
ラフォーレ中村 1階TEL : 052-433-6655/FAX : 052-433-6625
<http://www.narumi-y.jp/>

愛知県議会議員 鳴海やすひろ県政レポート

『愛知県誕生150年 今こそ県民の 皆様のための政治・政策を！』

皆様、こんにちは。愛知県議会議員
鳴海やすひろです。日頃より鳴海やすひろ
に温かいご支援ご指導を賜り深く感謝申
し上げます。

今年度は立憲民主党愛知県連合の国民
運動委員長として党本部と地域の課題を
「つなげる」仕事をさせて頂いております。
また、インターンの大学生達とも意
見交換を行い、若い世代の政治参加の大
切さを訴え続けています。

政治の現状は政府が推し進める大企業
や富裕層重視の経済政策により格差社会
の広がり止まりません。今こそ、一人
ひとりを大切に人間重視の政策を実
現していかなければならないと強く感じて
います。強いものだけが生き残るような
社会から弱い立場の方々にもしっかりと
寄り添った社会の実現を目指し、赤松
広隆前衆議院議員秘書としての16年
の経験や県議会議員として2期8年の
経験、若さと情熱を併せ、愛知県政
により一層取り組む決意をするところ
であります。

引き続き、医療面での対策事業やワクチン
接種の対応、エッセンシャルワーカー
である鉄道事業者、学校、児童福祉施
設、介護・障がい者施設での感染防止
対策や生活困窮など県民生活への対
策等、新型コロナウイルス感染症収束
に向けた取組を強く推進し、安心安全
で明るく希望に溢れる街づくりに向
けての取組みも全力で進めてまいり
ます。障がいがある人もそうでない
人も共に輝くことのできる未来のた
めに、愛すべき子ども達のために引
き続き全力で頑張ります。どうか一
層のご指導を賜りますようお願い申
し上げます。

至誠天に通ず。鳴海やすひろ

愛知県議会議員
(中村区選出)なるみ
鳴海やすひろ鳴海やすひろ オフィシャルウェブサイト <http://www.narumi-y.jp>

県議会での主な質問



質問1 地域公共交通への支援について

人口減少・少子高齢化社会の進展とともに、都市一極集中と地方の過疎化が続いており、加えて、新型コロナウイルスによる移動自粛やテレワークの推進、原油価格の高騰等により公共交通を取り巻く環境は年々厳しさを増している。また、乗務員やその家族に対する誹謗中傷も深刻な問題となっている。そこで、県として、オン後の交通事業者を力強く支援するための正しい情報発信と、公共交通の利用促進策についてどのように考えているかを質した。

○都市交通局長からは

感染防止対策や公共交通の利用を呼びかけるポスターやチラシを配布するとともに交通機関の感染対策のセミナーを開催し、県内の企業・団体等にクルマ通勤を控え公共交通機関による通勤を働きかけるキャンペーンを実施する事を明らかにした。また、コロナ禍を通じてリモートワークが浸透したことを踏まえ、今後はこれまで以上に観光・レジャー目的の利用を促進し、MaaSなども活用して利用促進を図ると答弁した。

質問2 愛知県立高校における生徒が制服を自由に選択できる制度を導入

連合の行った最新の調査によると、我が国の8%、13人に1人がLGBTであるという結果が出ており、こうしたLGBTの方々をいつまでも性的マイノリティと捉えて良いのか、大いに考えさせられる数字である。社会全体では電話相談窓口を設けるなど、徐々に支援・理解の輪が広がっているが、まだまだ手を差し伸べられていない部分がある。その1つが学校制服であり、性自認に悩むトランスジェンダーの学生達は、心の性別と制服の不一致により苦しんでいる。制服によって県立高校への進学を諦めざるを得ないこともあり、選択できる制服の早期導入を求めた。



○教育長からは

自認する性別に悩む生徒の負担を軽減できるよう女子のストラックス着用など生徒が性別に関係なく選べる制服の導入について検討するよう学校制服へ促すと答弁があった。



ヘルプマーク普及の会 小崎麻莉絵 代表

質問3 ヘルプマークの早期導入を知事に要請し実現

障害や目に見えない内部疾患を持った方々がまわりから援助を受けやすくするための、認知・理解促進について県当局がどのように考えているのかを質しました。平成24年に東京都で配布が始まった「ヘルプマーク」は全国13の都道府県、18の市町村で実施・配布されているが愛知県では「ヘルプマーク」への認知度も低く、取組が進まない現状を問題視し、早期の導入を求めたところ、大村知事からは「市町村と連携しできるかぎり早く導入する」と答弁があり、半年後、愛知県での配布が始まるまでヘルプマーク導入啓発セミナーが行われ、大村知事、河村名古屋市長、ヘルプマーク普及の会代表で友人でもある小崎麻莉絵さんと一緒に参加しました。

見た目が健常者と変わらない若者が公共交通機関を利用する際に優先席に座っていると心ない言葉をかけられることがあります。しかしその若者は癌闘病者かもしれない、また長時間立っていることが困難で、人工関節が体内に入っているかもしれない。そんな時にこの「ヘルプマーク」を身に付けることにより周りの人が支えてくれることに繋がると考えます。

質問4 企業におけるカスタマーハラスメント対策について



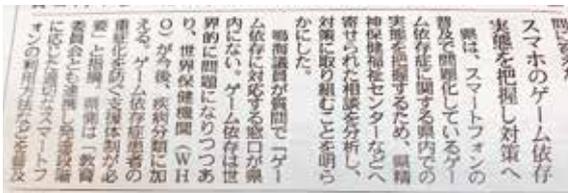
人と接する職業において人格を否定する暴言や悪意のあるクレーム、謝罪の強要といった、一般常識を超えた著しい迷惑行為、いわゆるカスタマーハラスメントが深刻な問題となっている。また、SNSの普及もあり、クレーム先が「会社」から「ネット」になりつつありSNS上で誹謗中傷を受けるといった事例も増加している。労働者に過度なストレスを与え、通常業務にも支障をきたすなど企業にとっても多大な損害となるカスタマーハラスメントを抑止していくための取組を質問した。

○県当局からは

ハラスメントによる身体的・精神的苦痛から休職・離職者が増加し企業に深刻な影響を及ぼすことが懸念されることから県内各地で開催する労働講座において事業主等を対象に、対策の重要性を啓発し、社会保険労務士による助言や公認心理士による心のケアを行うと答弁があった。

質問5 スマホのゲーム依存 実態を把握し対策へ

スマホが世界的な問題になりつつあり世界保健機関(WHO)が「ゲーム障害」を国際疾病分類「ICD-11」に追加すると公表したことを踏まえ、県としてもアルコール・薬物、ギャンブル依存症に加え、急増するゲーム依存症患者の重症化を防ぐ支援体制が必要と考え今後の取組を質問しました。



○県当局からは

教育委員会とも連携し発達段階に応じた適切なスマートフォンの利用方法などを普及啓発していきたいと答弁がありました。

その他の議会で 取りあげたテーマ

- 災害ボランティア活動の支援
- ワクチン再接種への助成
- 子どもたちの利用する野球場等グラウンドの確保
- SNSによる犯罪に巻き込まれない教育
- 名古屋駅のスーパーターミナル化について



名古屋港管理組合では本会議場にて進行係を務める

警察委員会において下記の要望を提案

- ① コロナ禍において、深刻な課題となっているDVやストーカー、児童虐待など社会的弱者が被害者となる犯罪への対策を強化すること。また、多額の被害が生じている特殊詐欺について、効果的な啓蒙活動を実施し、被害の未然防止を図ること。
- ② 侵入盗や自動車盗など、県民の安全・安心を脅かす犯罪の未然防止に向けた有効な対策を講じること。
- ③ あいち地域安全戦略の基本戦略である地域防犯力の向上について、引き続き、まちの防犯診断等により防犯環境の改善や自主防犯活動を促進するとともに、犯罪の未然防止及び地域住民等の安心感の醸成に資する防犯カメラの設置等を促進すること。



令和4年度
愛知県議会警察委員長に就任

なるみ 鳴海やすひろ活動報告



日頃の街頭活動



名古屋地協中村区在住者懇談会



Team N ビール祭



赤松前副議長と校野前代表



愛すべき子供たちのために



名鉄労組定期大会



母校の稲葉地小学校で総選挙の演説会



地域の声を届けます



後援会旅行



中村区 区民まつり



連合愛知街頭活動

地域のこと行政に関するご相談は
鳴海やすひろ事務所へお寄せください！



- 警察・道路・河川など行政に関すること
- 子育て・高齢者・障がい者福祉に関すること
- 暮らしに関すること
(弁護士、税理士、行政書士、社会保険労務士などのご紹介)

〒453-0839
 名古屋市東区長崎町3-48
 ラフォーレ中村1階
 電話 052(433)6655
 FAX 052(433)6625

皆様から頂いた貴重なご意見をこれからも行政に反映して参ります



鳴海やすひろ プロフィール

昭和50年中村区宿跡町生まれ
 桃山幼稚園、稲葉地小学校、豊正中学校、名城大学付属高校と中村区で学び育つ。
 名古屋学院大学を卒業後、赤松広隆代議士のもと、中村区担当秘書として16年間「ぶれずに進む勇気と正義」「ゆるぎない信念」を学ぶ。
 平成27年より愛知県議会議員(2期)
 立憲民主党愛知県連合国民運動委員長
 愛知県麺類食堂生活衛生同業組合中村支部顧問
 愛知県美容業生活衛生同業組合顧問
 中村区OB野球稲葉地チーム顧問 等